



檜小だより

檜原学園檜原小学校



6月号

令和3年度

6月1日(火)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

花 火

校長 乙津 秀敏

6月に入りました。この月は陰暦6月の異称で「みなづき」とも言います。なぜこう呼ぶのかについては諸説あるようですが、一番多く聞くのは「この月は暑さで水が涸れてしまうことから、水無月（みずなしづき→みなづき）と呼ばれるということです。今は日常生活の中であまり聞くことがない言葉ですが、どこか懐かしい感じがします。6月は日を追う毎に暑い日が増えてくる時期ですので、新型コロナウイルス感染症対策とともに熱中症にも留意しながら教育活動を進めて参ります。ご協力の程よろしく願いいたします。

先月は運動会に向けた取組で子供たちは日々一生懸命過ごしていました。昨年度は実施できなかった表現種目を今回はどうにかして実施しようと、先生方が一致協力して指導に当たっていました。これを受けて子供たちも一生懸命取り組んだ結果、日に日に上達していきました。私も練習風景を見ましたが、普段の授業とはひと味違った子供たちの真剣な眼差しを見て、とても嬉しい気持ちになりました。この「表現種目」というものは本番では実に数分で終わってしまうものです。ですが、練習では多くの時間をかけて少しずつ創り上げていきます。その中で繰り返されるのは先生と子供のコミュニケーションであり、練習を重ねるにつれその絆が深まっていきます。効率化や時短が優先されることが多い今日この頃ですが、このコミュニケーションを通して子供たちが学びとることはとても多いと考えています。またそのようなものだからこそ見た者に大きな感動を与えるのです。

話は変わりますが5月の連休中のことです。夜自宅で本を読んでいたところ遠くで花火を打ち上げる音がしました。何だろうと思い2階に上がり遠くを眺めたところ、南の方角に花火のいくつもの美しい大輪が見えました。短い時間ではありましたが妻と2人でしばらく見入ってしまいました。後でニュースで知ったのですが、花火業者の方々が緊急事態宣言が発令される中、「花火のチカラで日本中を笑顔に」をテーマに国内200カ所以上で打ち上げを行ったとのことでした。私が見たのもその一つかも知れません。久しぶりの花火を見て確かに気分が変わりました。気持ちが軽くなった気がいたしました。

夏の夜空を彩る花火は実に美しく万人を魅了します。ですがその美しさは一瞬で終わり後には再び静寂の夜が訪れます。儂いものと言えはその通りですが、だからこそ人に大きな感動を与えるものだと思います。そして忘れてはならないのはその花火を打ち上げる花火師たちは花火の制作から打ち上げまで実に多くの時間をかけて入念に準備をするということです。私が見た花火もきっとそのようにして打ち上げられたものだったのでしょ。

私はこの花火と運動会の表現種目には、共通点があると思っています。ともに後には何も残らないものではありますが、見た者に多くの感動を与えます。そしてそれを創り上げるには実に多くの人の手と時間が費やされています。その過程も大変貴重であり、関わった者にはかけがえのない経験と思い出をもたらします。

新型コロナウイルス感染症の影響は依然として強く学校現場にも降り注いでいます。ですが、学校としては万全の対策を施した上で学校でしかできない様々な取組を可能な限り行っていきたくと考えています。運動会へのご理解と応援、誠にありがとうございました。今月もどうぞよろしく願いいたします。

転任者の言葉



〈4月に予定していた離任式は、緊急事態宣言発令のため、実施することができませんでしたが、オンラインを活用して、6年生と交流することができました。転出した竹内先生からメッセージをいただきましたので紹介いたします。〉

たくさんの人々に支えられ、人生の中でかけがえのない時間を檜原村で過ごさせていただきました。檜原の子供たちや保護者の皆様と共に歩んだ日々は私にとって大きな財産です。これからも何度も何度も足を運ばせていただきたいと思います。5年間本当にありがとうございました。

国分寺市立第六小学校 竹内 啓太

6月の生活目標



ろうかの歩き方と、 雨の日の過ごし方を考えよう！

今年は全国的に梅雨入りが早く、檜原村でもすでに湿気の多い日が続いています。校舎内1階のろうかや階段が、湿気で滑りやすくなる日も多いです。こういう時こそ、ろうかの歩き方と、雨の日の過ごし方を、再度考えてみましょう。ろうかや階段は右側を一列で歩くことを意識してほしいと思います。6月上旬には親子読書旬間もあります。静かに本を読むのも、雨の日の良い過ごし方ですね。落ち着いた気持ちで、長い梅雨を、上手に過ごしましょう。

生活指導部 河野 香織



2年生 人権の花・グリーンカーテンの取組

5月中旬、2年生は、「人権の花運動」と「グリーンカーテン作り」の2つの活動に取り組みました。「人権の花運動」は人権教育の一環として、自分も他者も大切にしようと呼びかけ、その象徴として、花を育てていく活動です。「グリーンカーテン作り」は、SDGsを広めるために、檜原村役場の壁面にゴーヤと朝顔のカーテンを作って地球温暖化を防いでいこうという活動です。村長さんと一緒に取り組みました。

まだまだ幼い2年生ですが、子供たちの心に、人間にとって大切なことの芽が確実に育ち始めています。

2年担任 河野 香織



特別支援教育

新年度が始まり、2か月が経ちました。あすなろ教室（特別支援教室）でも子供たちがそれぞれの目標に向かい、頑張って学習をしています。

今回は、あすなろ教室で取り組んでいる学習のひとつ「ビジョントレーニング」についてご紹介します。これは、目を動かす運動を通して、「目を動かして見る力」「頭の中で形を理解してイメージする力」「イメージした通りに身体を動かす力」等を高めていく学習です。普段はあまり意識することがない力かもしれませんが、学習面や運動面に大きく関わる、とても大切な力です。

特別支援コーディネーター 小林 忍

檜原村SDGsバッジの配布について

本校では、新学習指導要領の趣旨に即して、児童に学習の意義を捉えさせるため、学習が自分の生活とどのようにつながっているのか考えることを大切に授業を総合的な学習の時間を中心に行っています。その際、2030年までの世界の目標であるSDGsを活用しています。

SDGsの取組については、檜原村でも取り組んでおり、児童が一層SDGsを意識できるようにと、この度、檜原村SDGsバッジを全校児童分いただきました。そこで、各学級でSDGsについて児童に伝え、配布しました。

各ご家庭におかれましても、SDGsについて、話題にして頂ければと思います。



安全な自転車の利用について

令和3年度、東京都では、多数の自転車事故が発生しており、自転車の安全な利用について、注意喚起を行っています。

本校においても、安全指導や日常の生活指導を通して、児童が安全に自転車を利用することができるように指導をしているところです。各ご家庭におかれましても、自転車の利用についてお子様と再度確認していただき、児童が事故にあうことがないようにご協力の程、お願いいたします。

尚、学校では、他地区と同様に、3年生までは、保護者の方が見える範囲で、ヘルメットを着用した上で自転車に乗るように指導していますのでご承知おきください。

